

令和4年度  
自己評価・学校関係者評価（島田北幼稚園）

教育目標	こころおおきくなあれ 個性を伸ばし感性を豊かに育む 挨拶や感謝の気持ちを感じ表現できる、基本的な生活習慣を身に付ける（人間形成の基礎）
------	---

※自己評価は4段階評定 自己総合評価及び学校関係者評価はABC評価にて評定

1. 教育目標について

評価項目	自己評価		学校関係者評価	
	評価	総合評価	評価	評価理由
教育目標を理解し子ども達に指導することができた。	2	B	B	具体的に表現された項目の比較的高い評価にも関わらず、昨年の評価に対する指導の効果が不十分と思われます。目標の具体化に勤め、実現することによる教育効果の向上が、当園の好評価となるよう期待します。
子ども達が元気よく挨拶が出来るようあらゆる場面で指導した。	4			
明るく元気な子どもの育成に努めた。	4			
子ども達一人一人の特徴を観察し尊重することができた。	3			
毎日の活動で社会的な生活習慣を身に付ける為の指導は十分に行った。	3			

2. 教育計画について

指導計画作成にあたり、子どもの成長状況を把握し配慮している。	3	C	C	計画作成に教職員の一定の参画が評価されていますが、一方で園の方針との齟齬が評価に現れています。過去の計画に捕われず、保護者ニーズを適切に捉えた独自の計画立案を望みます。計画の本質を捉え適格な臨機応変に順応出来るよう指導されたい。
指導計画作成には、園の教育方針が生かされている。	2			
指導計画の内容は、過去の計画に左右されず現実にマッチしている。	2			
指導計画には、教育内容に対する自身の考えを十分盛り込んで作成した。	3			
行事等の計画とその運営は適切であった。	3			
計画の変更は、状況により随時行えるよう順応性を考慮している。	2			

3. 教育活動について

子ども達に多くの体験をさせる為の工夫は十分に行った。	3	B	B	多くの体験学習を企画し、子ども達の発達状況を観察する姿勢が見られますが、他方に興味を持てる活動を意識し高い教育効果を目指す準備の点で、教職員間の意識が一致していないよう評価されています。子ども達の自主性への配慮と、実際の活動内容を精査し、効果的な活動を期待します。
生活習慣の指導について、一人一人を観察し対応している。	3			
子どもの自主性に配慮し、押付の指導は行わない。	2			
子ども達の発達状況を把握している。	3			
子ども達が興味をもてるような活動内容を常に考え実践している。	2			
教育効果を高める為の事前準備は万全である。	2			

4. 保健・安全について

子どもの視診は、登園時及び降園時に必ず行っている。	4	B	A	コロナ禍での活動が長く続く中、園児の視診を綿密に行い、健康と安全に対する意識の高さが評価できます。また、教職員自身の健康管理についても留意する姿勢があります。一方で、日々の基本的な生活習慣への指導が当たり前化し意識の希薄さが見えます。事故への対策を含め、正確な対応を希望します。
危険回避の為に危険個所の把握に努めている。	3			
安全管理について、年齢に応じた言葉や方法で指導を行った。	3			
うがい・手洗い等の基本的な生活習慣の習慣化が図れた。	2			
万一に備え、事故発生時の対応を確認している。	3			
自らも体調管理には十分注意している。	4			

5. 学級経営について

子どもの気持ちを理解し十分に遊びに係わった。いっしょに遊んだ	3	B	B	クラスをまとめ楽しい幼稚園生活を演出するよう努力の姿勢や、一人一人と向き合い尊重する活動は評価出来ます。教師としてのスキルを高め、品格を心掛けた言葉や態度を日々意識することで、保護者からの信頼を獲得出来るよう願います。
クラスをまとめ全員が仲良く楽しく生活できるよう工夫している。	4			
子どもの気持ちに十分配慮し個人を尊重した指導を行っている。	3			
子ども達とのスキンシップは、一人一人全員に十分行っている。	3			
子どもの話をしっかり聞くよう心がけ実行している。	4			
教師としての品格を心がけた言葉や態度で子ども達に接している。	2			

6. 研修について

研修には常に自らのテーマを持って積極的に参加している。	2	C	C	研修参加への意識が、毎回の自己評価で指摘されていますが改善しません。教師としての目標や興味のある事柄への研究心の向上が求められます。研修での成果を実感する評価があることから、自らのスキルアップの為にも課題を見つけるよう希望します。
研修に参加するのは楽しい。	3			
自らが進んで研修会を選択し参加することで自己研鑽に努めた。	2			
研修で得た内容が毎日の教育活動及び私生活に生かされた。	4			
今後研究したい課題やテーマがある。	3			

7. 保護者・地域との関りについて

子どもの成長について保護者との連携は十分に行っている。	3	B	C	保護者対応について、責任ある意識が評価される一方で、意思の疎通が不十分だと心配する評価が確認出来ます。当園としての対応を標準化することで、自信ある対応が可能だと考えます。このことにより、保護者との信頼関係が一層強まるよう期待します。地域との関わりについては、コロナ感染終息後に改めて再考し貢献に努めるよう願います。
担当するクラスの保護者との意思の疎通が十分に図れている。	2			
保護者のクレーム・相談等には園を代表する意識で誠実に対応している。	4			
現在の園と地域との関りは十分だと思う。	2			
地域の主催する行事には積極的に参加している。	2			
「キッズ・くらぶ」の内容は保護者ニーズに即したものであった。	2			

8. その他

自らが求める教師像に向かって努力した。	2	B	B	変化が激しい社会状況や園児数減少の実情に鑑み、教職員各自の活動を検証し、マンネリ化防止を念頭に、新しい発想での活動を期待します。
島田南学園（組織）の一員として協働することができた。	4			
私生活を含め常に教師としての自覚と責任を意識している。	3			
職務のマンネリ化防止に努めている。	2			
子どもに要求することは自らも実行している。	3			
備品・消耗品等の効率よい使用を考えて実行している。	2			

令和5年3月25日

当委員会は、提出された自己評価及び総合評価表等を基に3月11日に評価を行い、上記の通り報告致します。

学校法人 島田南学園 学校関係者評価委員会  
委員長 町 淳子



\*自己評価各項に対する評価内容（コメント）は、自己評価書に記載を確認